

施策名：青少年の健全育成

事業名	担当課・室名	ページ
大分県少年の船運航事業	私学振興・青少年課	1 / 2
豊かな体験活動推進事業	社会教育課	1 / 2
青少年等自立支援対策推進事業	私学振興・青少年課	1 / 2
青少年ネット安全安心利用推進事業	私学振興・青少年課	2 / 2

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(6)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
1	大分県少年の船運航事業 (S55 ~) 私学振興・青少年課 大分県の明日を担う青少年の健全な育成を図るため、少年の船を運航し、学校や家庭では体験できない船内外での研修及び集団生活を通じて、青少年の社会性を養いながら、生きる力を育む。	①大分県少年の船実行委員会への補助 ・陸上研修「少年の船の家2021」（10月9～10日） ・成年リーダー事前研修（計2回） ・班長・副班長事前研修会（1回） ・運営委員会（計6回） ・実行委員会（計2回） ・次年度へ向けたプログラム等検討委員会（計3回）	① 5,335 ③	参加した社会人リーダー数 [累計：人]	目標値	237	241	246	A
			②		④	実績値	241	246	
			主な活動指標と達成率		達成率	101.7%	102.1%	—	
			応募者数	目標値 278 実績値 303 達成率 109.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新型コロナウイルス感染症の影響により、船内研修から県内青少年施設を利用した陸上研修「少年の船の家2021」に変更して実施したところ、団員の応募が多数あり、感染症対策を講じて行った協働体験活動等を通して、団員の社会性やコミュニケーション能力の育成、中高生、成人スタッフのリーダー育成を図ることができた。 今後は、陸上研修で得た成果を生かし、感染症対策を徹底しながら「少年の船」の理念やノウハウを継承していく。	リーダー・班長研修の開催	目標値 6 実績値 5 達成率 83.3%		
			予算額 (うち翌年度繰越額) 5,439 (0)	決算額 (うち国庫支出金) 5,335 (0)					
[回]									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
2	豊かな体験活動推進事業 (R1 ~ R3) 社会教育課 子どもの自己肯定感を高め、社会を生き抜く力を身に付けさせるため、青少年の家等を活用した自然体験プログラムを開発し、小学校での宿泊体験活動の普及を図る。	①小学校における2泊3日の宿泊体験の推進 ・実施6校（参加児童320名） ・教職員研修：香々地編(7/29)・九重編(11/11) ・事業報告会の実施（参加者49名） ・プログラム作成委員会開催 ②青少年教育施設における「野外活動塾」の実施 ・児童養護施設に所属する児童生徒を対象とする宿泊を伴う体験活動の実施（6回開催、4施設59名が参加）	① 2,073 ③	本事業の趣旨に沿った宿泊体験活動をおこなった学校数(小学校) [校]	目標値	18	18	D	
			② 520 ④		実績値	9	6		
			主な活動指標と達成率		達成率	50.0%	33.3%		
			豊かな体験活動推進研修、事業報告会に参加した教職員等の人数	目標値 72 実績値 73 達成率 101.4%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新型コロナウイルスの感染拡大時期が実施時期と重なり、宿泊体験実施校数は減少したが、参加児童数は、一昨年度172名、昨年度215名、今年度320名と着実に増加。今年度は、香々地・九重青少年の家での宿泊体験のモデルプランを紹介する「大分県版宿泊体験活動のびき」を作成し、3月に実施した事業報告会で各学校の教員や地教委に対して活用を呼びかけた。 宿泊体験プログラムの開発と普及が進み、事業目的は一定程度達成できたと考えられることから、本事業は終了する。	IKR（「生きる力」の測定・分析ツール）の有意差が見られる項目数	目標値 2 実績値 3 達成率 150.0%		
			予算額 (うち翌年度繰越額) 6,675 (0)	決算額 (うち国庫支出金) 2,593 (905)					
[項目]									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
3	青少年等自立支援対策推進事業 (H19 ~) 私学振興・青少年課 ニートやひきこもり、就労等社会的自立に困難を抱える青少年及びその家族を支援するため、子ども・若者総合相談センター／ひきこもり地域支援センター及びおおいた青少年総合相談所（大分市中央町）を運営する。	①子ども・若者総合相談センター／ひきこもり地域支援センターの運営 ・電話相談員、専門相談員、訪問支援員、市町村支援員、自立支援員による相談支援 ・大分県子ども・若者支援地域協議会の運営 ・当事者・家族の居場所作り ・多職種専門家チームの設置と会議の開催 ・ひきこもり支援ネットワークの構築 ②おおいた青少年総合相談所の運営 ・おおいた子ども・若者総合相談センター／おおいたひきこもり地域支援センター、児童アフターケアセンターおおいた、おおいた地域若者サポートステーションの4機能をワンストップで相談を受ける「おおいた青少年総合相談所」に3機関の調整を行うためのコーディネーターを配置	① 29,671 ③	子ども・若者総合相談センター／ひきこもり地域支援センター相談件数 [件]	目標値	2,000	2,000	A	
			② 3,499 ④		実績値	2,286	2,423		—
			主な活動指標と達成率		達成率	114.3%	121.2%		—
			子ども・若者総合相談センター／ひきこもり地域支援センターの周知・広報件数	目標値 145 実績値 146 達成率 100.7%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 センターに配置した市町村支援員が支援体制構築や相談事例等に対して助言を行うなど、市町村への後方支援体制が充実したことにより、市町村や関係機関からの相談件数が大幅に増加した。また、令和3年度に設置した多職種専門家チームの会議を毎月開催し、市町村が抱える困難事例にも助言を行った。 今後は、人材養成研修の内容や方向性について検討し、専門的な人材の育成に取り組む。	連携先支援機関・団体数	目標値 56 実績値 94 達成率 167.9%		
			予算額 (うち翌年度繰越額) 47,077 (0)	決算額 (うち国庫支出金) 46,311 (20,365)					
[団体]									

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(6)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
4	青少年ネット安全安心利用推進事業 (R1 ~ R3) 私学振興・青少年課 青少年等のネットモラル・リテラシーの向上や青少年を有害環境から守る気運の醸成を図るため、保護者も対象とした研修会等を開催する。	①中学生・高校生ICTカンファレンスの開催 ネットモラルやICTの利活用等をテーマに中高生が議論するワークショップを開催 ②啓発物品の作成・配布 子どもがインターネットを安全安心に利用できるよう啓発資料を保護者に配布 ③スマホ・インターネットの安全安心利用フォーラムの開催 青少年を取り巻くネット環境をテーマに、基調講演や中高生による意見発表等を、保護者も対象にして開催	①	2,305	③	30	家庭でのルールづくりの割合 目標値 71.0 実績値 66.9 達成率 94.2%	72.0	68.7	B		
			②	354	④							
			主 な 活 動 指 標 と 達 成 率				中学生・高校生ICTカンファレンス参加者数 [人]		目標値 80 実績値 24 達成率 30.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 ICTカンファレンスやフォーラムの開催を通じて、青少年だけでなく保護者のネットモラル・リテラシーを向上させることができた。 スマホ利用の低年齢化が進む中、青少年だけでなく、低年齢層の子どもの保護者等に対して、さらに広報啓発を充実する必要があることから、令和4年度からは、「安全・安心なインターネット等利用環境づくり事業」として、保護者に対して啓発用チラシを配布し広報啓発を強化する。		
			予算額 (うち翌年度繰越額) 3,233 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 2,689 (2,305)		フォーラム来場者数 [人]		目標値 200 実績値 130 達成率 65.0%			